

大鉄工業株式会社

中期経営計画 2030

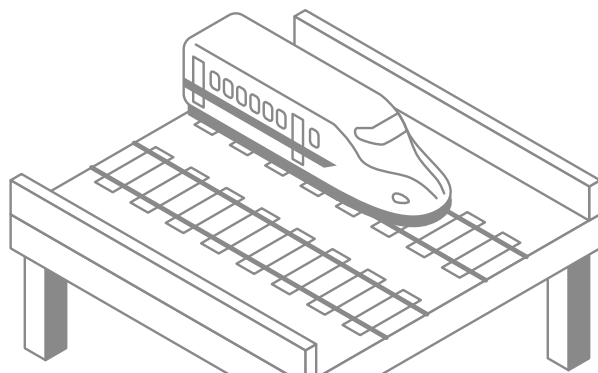
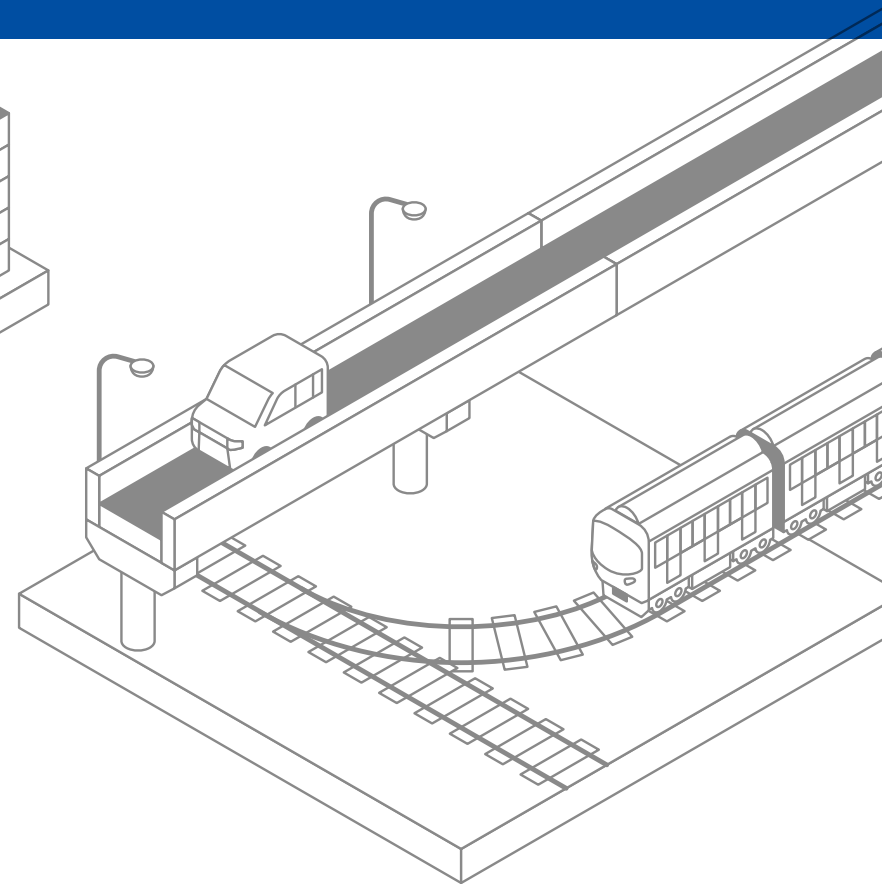
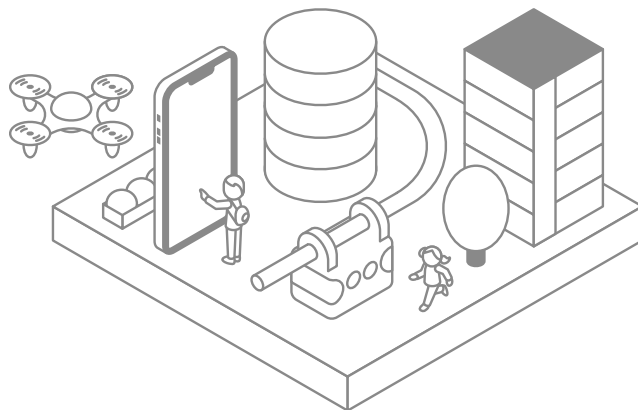
ミライを創る ～進化と挑戦～



JR西日本グループ



もっとながる。未来が動き出す。



1 | はじめに

トップメッセージ

当社は、2023年に創業80周年を迎え、これまで幾多の環境変化を乗り越え、鉄道工事精通会社として、また総合建設会社(ゼネコン)として、みなさんとともに大きな成長を遂げて参りました。

前中期経営計画2025では、コロナ禍で激変した経営環境の中、当社の価値観である「安全理念」と「私たちの3つの使命」を実現するため、みなさんとともに高品質な施工や受注の継続拡大に加え、働き方改革、DXなど、将来の持続的な成長に向けた基盤づくりに取り組んできました。その結果、目標として掲げた「安定的な完工高1,000億円」を達成することができ、この成果は、当社が目指す「高い信頼を得て施主から選ばれ、地域に貢献する企業」に一步近づいた証でもあります。

一方で、国内経済の金利上昇への転換や、世界情勢の不確実性、AI技術の進展など、資材調達やデジタルインフラを含む幅広い分野で、我々が当事者であることを改めて認識する数年でもありました。また、国内インフラの維持更新の課題に対して、少子高齢の進んだ日本において、建設業界がどのように変容し、挑んでいくのか等、今まさに、様々な視点で考える時期を迎えています。

そのような中、当社は10年先を見据えた新たな5カ年計画・中期経営計画2030をスタートさせます。建設業界全体の2大テーマである「担い手の確保」と「生産性の向上」に向き合い、これまで積み重ねてきた信頼のひとつひとつを『大鉄ブランド』へと結びつけ、みなさんとともに描いた『ありたい姿2035』の実現に向け、持続的に成長する会社を目指します。そのためにも、様々な経験や背景を持つ仲間が、相互リスペクトを大切にしながら、自分らしくいきいきと活躍・成長できる環境を築き、本音で議論し、結果にこだわり、新たな価値を社会に提供し続ける
—— そんなDAITETSUを一緒につくり上げていきましょう。



大鉄工業株式会社
代表取締役社長

半田 真一

私たちの『3つの使命』

- ①「JR西日本グループのハウスゼネコン」として、その**付託に応える**
- ②「鉄道精通会社」として、卓越した安全力・技術力をもって高品質かつ低コストの鉄道関連工事を実行することで、**社会的責任を果たす**
- ③「総合建設会社」として、西日本エリアを中心に、卓越した技術力をもって優れたインフラを構築することで、**地域の発展に貢献する**



安全理念（経営理念、企業理念）

私たちは「人を大切に思う気持ち」と
「仕事に対する真心」とで、
安全施工の大鉄工業を築きます。

達成感や働きがいを創造するために

- 明るく** 日頃から**明るい気持ち**で様々な事象を捉えることで、発想が未来思考となりピンチもチャンスにかえることができる
 - 楽しく** どんな仕事も**楽しくやること**で高い成果が上がり、例え失敗しても再挑戦できる
 - 前向きに** **前向き**に物事を考え、仕事に向き合い、自分磨きを楽しもう！
- + 相互にリスペクト

- 「中期経営計画2025～進化への挑戦～みんなの笑顔で明るい未来を」を掲げ、当社の3つの使命を果たすべく、線路・土木・建築の各事業に取り組んだ3年間
- 特に、安全で高品質な施工を追求し、目標としてきた「完工高1,000億円を安定して目指せる状態」に到達
- 一方で、「担い手の確保」や「生産性の向上」が今後の大きな課題である

重点戦略

5つの重点戦略	進捗・成果
① 安全力	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全や品質管理の仕組みが機能(PDCAの確実な推進に課題) ● お客様の公衆災害・鉄道関連での死傷事故はゼロ(重大事故の風化防止や外国人財教育等に改善余地) ● 何でも言える環境・風土づくりの推進
② 受注・営業力	<ul style="list-style-type: none"> ● 官公庁・民間(A・B工事)の顧客開拓を推進 ● 安定した受注獲得も利益率に課題 ● 地方支店の活性化や新規事業のスケール化に課題
③ 施工・技術力	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械化・ICT技術の導入を推進 ● 今後増加する新幹線大規模修繕等の鉄道工事への対応が課題 ● 働き方改革に向けた建設DXの推進がカギ
④ 働きがい	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃金・処遇改善等の労働環境改善を推進(離職に一定歯止め) ● ライフステージに応じた柔軟な働き方のできる環境、一人ひとりの自己実現・成長機会の創出が課題
⑤ 組織基盤力	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社・支店機能の再編、現場サポート室を発足 ● 不確実な社会変化へ、引き続き柔軟に対応

到達目標

安全で高品質な施工の追求と積極的な構造改革の挑戦を続け、安定的に完工高1,000億円を目指せる実力が備わっている状態

2023年度	1,010億円
2024年度	985億円
2025年度	1,021億円(見込み)

目標達成

今後の物価上昇・経済成長を考慮すると、現状維持では不十分

残された重要課題

担い手の確保

生産性の向上

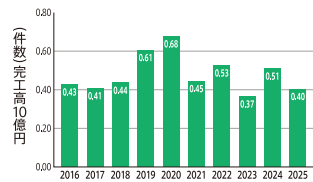
5つの重点戦略 ～様々に進化を遂げた3年間～

ここでの成果を次の中計でも継続・進化させていく

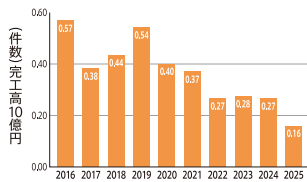
① 安全力

計画精度向上等の継続的な取組みにより、事象等の件数は減少傾向

労働災害 (完工高10億円当たり)

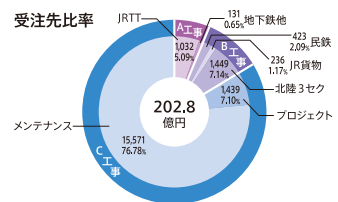


輸送障害・注意事項、 公衆災害、安全報告 (完工高10億円当たり)

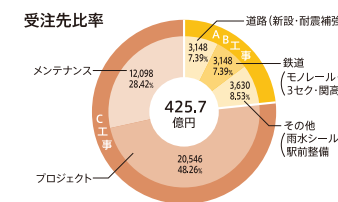


② 受注・営業力

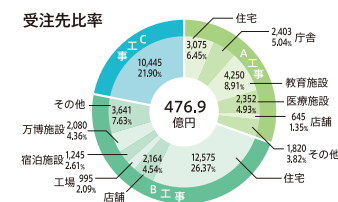
線路部門



土木部門



建築部門



③ 施工・技術力

前向きに、技術で挑む



新技術・KAIZEN



④ 働きがい・⑤ 組織基盤力

労働環境の改善

- 勤務改善の定着と労働時間の適正化
- 社員の処遇、労働条件の改善
- 事務所の改修(職場環境の改善)

本社機能の再編

- 本部制の導入
(安全・企画推進本部、コーポレート統括本部、営業統括本部)

現場支援体制の整備

- 現場サポート室(線路)、
生産支援部の新設(建築)

グループ会社との協働

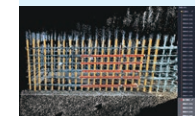
- (株)新神戸軌道、近畿共栄(株)の子会社化
- 足場仮設を専門とする新会社設立



外国人材の受入れ

- 外国人技能実習生の受入れ

ICTを活用したDX推進



配筋測量による検査の効率化



BIMモデルを活用した型枠数量算出

ありたい姿2035

社会から安心信頼される
社会基盤の維持・創造に貢献する大鉄



ヒトが集まり
魅力あふれるDAITETSU

私たちは、〇〇〇な企業でありたい

- ✓ 施主や地域から信頼される安全で高品質な大鉄
- ✓ 人と人、地域をつなぎ、技術でミライをつくるDAITETSU
- ✓ 鉄道やその他社会インフラを支える西日本を代表するゼネコンの大鉄
- ✓ 一人ひとりのライフスタイルや価値観に合わせ、
多様な人財が成長・チャレンジし続けるDAITETSU
- ✓ 社員とその家族、協力会社を大切にする大鉄
- ✓ 個人と組織が「共働共創」し、新しい価値や成果を生み出し、
すべてのステークホルダーに還元し続けるDAITETSU

中期経営計画2030：基本方針

「継続・進化」と「新たな挑戦」

ありたい姿2035に向けた持続的成長



継続と進化

ポストコロナへの挑戦で獲得した成果
新たな技術や顧客、人財、
サプライチェーンを進化



新たな挑戦

「ありたい姿2035」に向けた
持続的な成長を促すチャレンジ
(やってみよう)の推進



サステナブルで
快適な社会



安全で安心な
社会インフラ



社員とその家族、
協力会社の笑顔

5つの重点戦略 ★:チャレンジ

① 安全・品質

安全品質管理PDCAの確実な推進
重大事故の風化防止
★大鉄ブランド化

② 人財・働きがい

★DX/働き方改革
処遇改善/エンゲージメント
外国人財

③ 営業・受注

A・B工事の顧客開拓
★エリア支店活性化
地域活性化

④ 技術・施工

機械化/自動化
協力会社
★新たな技術獲得

⑤ サステナ経営

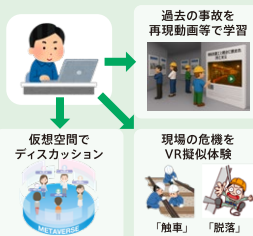
地域の課題解決
地球環境
★インフラ老朽化

安全と品質の「大鉄ブランド」を確立する

+ 安全

安全管理のPDCAを継続的に実践し、安全に対するリスクを抑え込む※

施主が違ってても必ず実践する安全の取組み = 「大鉄ブランド」

VRで疑似体験できる安全教育
「安全伝承館」安全管理のPDCAの
確実な推進と定着

- 実効性の高い施工計画策定
- 点検、是正の仕組みの有効性確認と改善

気づきや危険に対する
感受性の向上

- KYT質的向上
- チーム内での気づきの共有(声掛けなど)
- HFの視点での重大事故防止対策の検討

次なるステップへの取組み

- 安全伝承館の創設と活用
- 「大鉄ブランド」の具体化と展開
- 上手くいっている事例からの学び(Safety 2)

※ 目指すべき状態

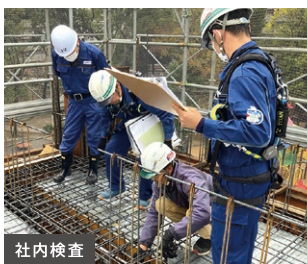
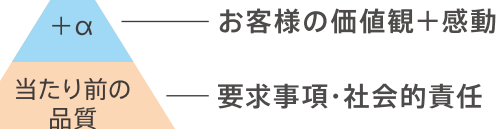
- 公衆災害、鉄道関連(鉄道を利用するお客様、踏切通行者等)での死傷事故を発生させない
- 工事での死亡または後遺障害が残る労働災害を発生させない ● 輸送障害を発生させない

品質

当たり前の品質と+αの提案で、お客様に選ばれる品質を提供する

お客様に寄り添う提案で最適品質を提供 = 「大鉄ブランド」

- マネジメントシステムの継続運用(当たり前の品質)
 - ▶ 施主要求事項の明確化と実施
- お客様に寄り添う最適品質の提案(+α)
 - ▶ 提案を社内検査で評価し共有する仕組みの構築



KPI

(2030年度目標)

公衆災害・運転事故件数
20%DOWN※(対2025年)労働災害件数
20%DOWN※(対2025年)施主評価(年平均)
A工事:75点以上 B工事:80点以上

※完工高あたり



「大鉄ブランド」の確立

「共働共創」する「大鉄マインド」

相互にリスペクトし合う姿勢(=人を大切に思う気持ち)と、信頼・誠実・情熱をもって最善を尽くす心構え(=仕事に対する真心)で、すべてのステークスホルダー(施主、働く仲間、株主、地域社会等)の期待に応える



共働

(個人と組織が成果を出し続けるための取組み)



共創

(変化に対応し、創造し続けるための取組み)

エンゲージメントの向上

- 働きやすいオフィスへのリニューアル推進
- ワークライフバランスの充実を目指した仕組みづくり
- 成長を実感できる新たな仕組みづくり
- 福利厚生の充実
- 健康増進(運動習慣と食習慣の改善支援等)



多様な人財の確保

- 新卒、社会人採用の強化
- 外国人受入れの仕組み整備
- 地域に根差したキャリア形成
- 自社の魅力を伝える採用広報



新たな働き方の創出

- DXを活用した業務自動化の推進
- デジタルリテラシーの向上
- 現場サポート業務の高度化、建設ディレクターの活躍
- グループ会社との連携強化



KPI
(2030年度目標)

エンゲージメントスコア*
2026年度+1.0(偏差値)
業界トップクラス(偏差値)

*年に1回、仕事・組織に対する自身の意識・行動について測定する指標

人財採用率
100%以上(対計画)

健康経営
目標

健康経営優良法人
5年連続取得

各健康指標
継続的向上

既存領域の深度化と新たなマーケットの獲得×生産性の向上と施工能力の確保

- 進化** マンションや公共施設など前中計で拡大してきた分野の定着
- 挑戦** より技術力の求められる領域、多様な発注形態にチャレンジ

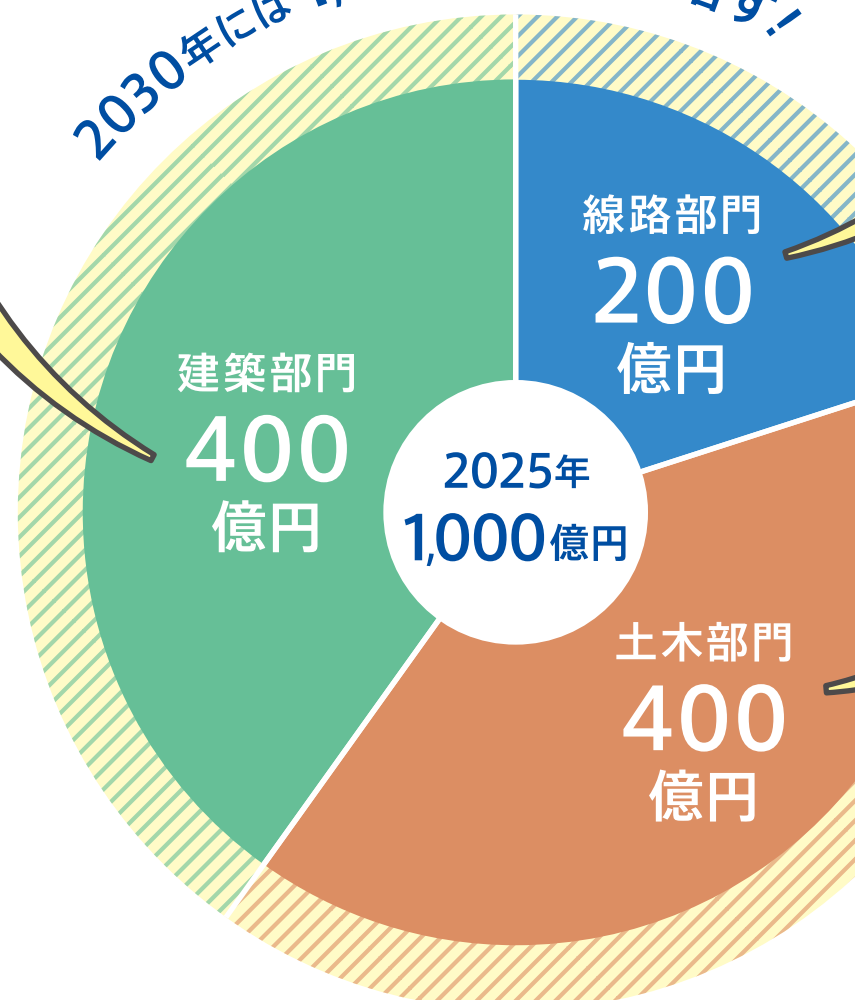
建築
売上高 **550億円**



多様な発注形態
(PFI・DB等)
への対応



2030年には1,300億円*を目指す!



KPI
(2030年度目標)

1人あたりの生産性
10%UP(対2025年)

外部収益の拡大
40%UP(対2025年)

線路
売上高 **230億円**

進化 官公庁・民間の技術課題解決にも挑み、次世代へ鉄道インフラを継承

挑戦 AI等先進技術を活用し、機械・システム化の効果最大化



北海道新幹線



ポートライナー ©神戸市

機械化・技術開発



新型miniMTT



THA

土木
売上高 **520億円**

進化 新幹線大規模修繕や耐震補強、ホーム柵整備等の完遂に向けた生産性の向上

挑戦 JV案件への参加等を通じた技術力・提案力の向上、営業力の強化による事業拡大

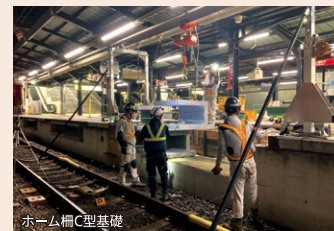


桶田Bypass URTIC法



西御鶴東御鶴上安久Bo新設

技術開発の推進



ホーム柵C型基礎

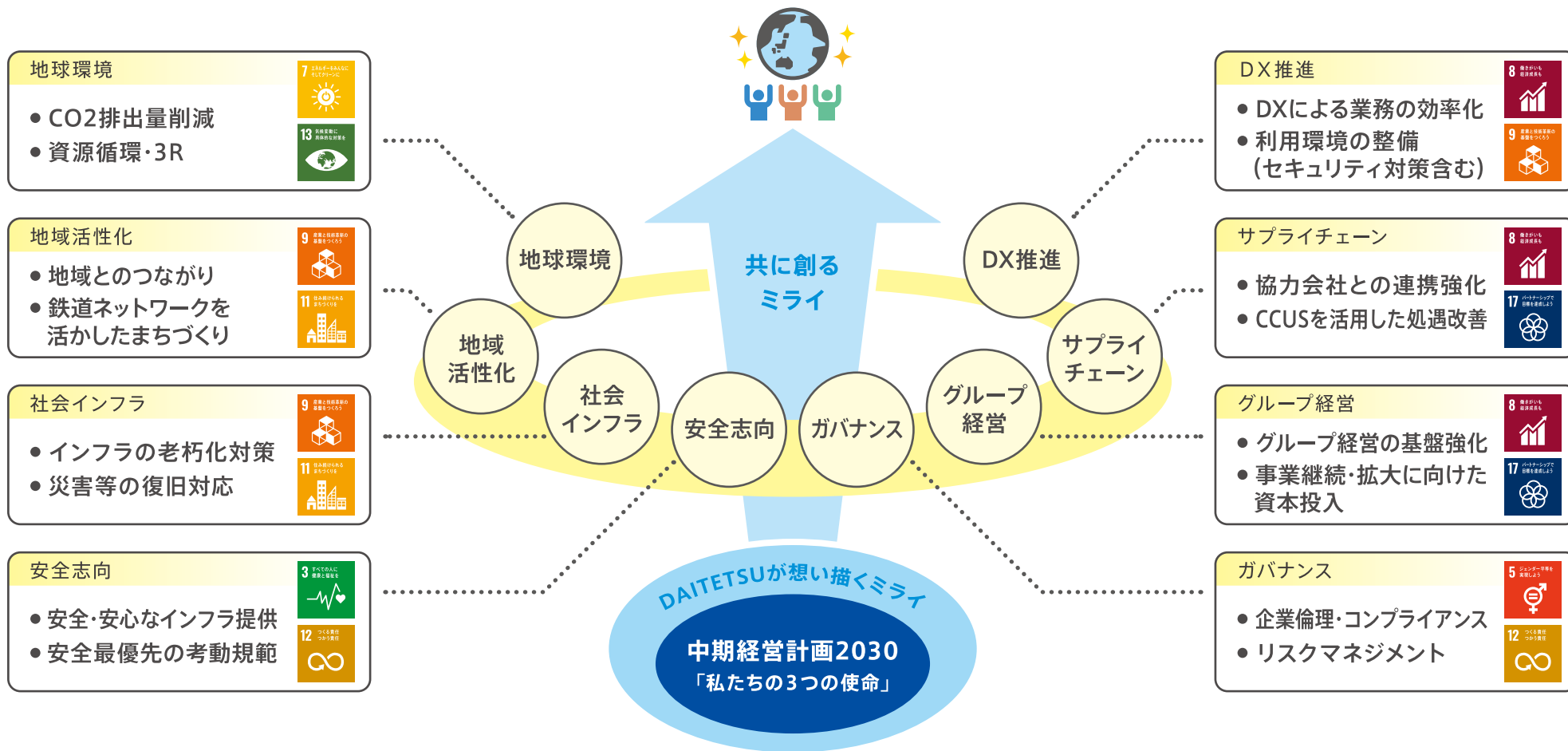


枚岡河内シールドマシン

※物価高騰含む・子会社の売上高(大鉄外)含む



私たちは社会課題解決に挑み続けます — 持続可能な社会へ —



KPI (2030年度目標)	混合廃棄物排出率 3%以下	CO2フリー電力の導入率* 100%	チャレンジ 目標	総合インフラ マネジメントの事業化 1件以上
	*当社が選択可能な電力であり経済合理性のある場合			

DX推進

建設業の働き方改革

技術者が、より現場に専念できる環境づくり



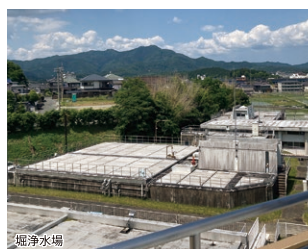
地域活性化・社会インフラ

持続可能な社会インフラの提供



「総合インフラマネジメント事業」とは

道路・水道・橋梁・公共施設といった社会インフラの老朽化、担い手不足、財源不足が急速に深刻化しています。こうした課題に対して、従来は自治体が個別に管理していたインフラを、民間企業が持つ技術力・資金力・運営力を集結し、包括的かつ最適に管理する事業モデル。



福知山市の上水道事業にも
協力企業として参画

大鉄グループ経営

グループ経営の基盤強化により、サプライチェーンを持続的に発展させるとともに、積極的な出資により、地域の社会インフラを支えます

基盤強化 | 既存のグループ会社との協働と協創

- 鉄道施設のメンテナンス体制確保に向けたサプライヤーへの出資
- 業務の生産性向上、品質向上を目指した派遣会社等への出資

大鉄グループ

線路部門

- 北陸軌道株式会社
- 株式会社ミツテック
- 株式会社新神戸軌道

土木部門

- 京橋ブリッジ株式会社
- 日綜メンテナンス
エンジニアリング株式会社

建築部門

- 株式会社ジェイアール
西日本ビルト

サポート部門

- 近畿共栄株式会社

挑 戦 | エリア支店の活性化に向けた出資・提携

- 地域の発展に貢献するためのエリアゼネコン・サブコン等との連携等

投資計画・財務目標

成長投資額

成長投資 5年：250億円 (直近5年の投資額70億円)

事業投資



サプライチェーンの強化
成長エンジンの獲得

設備投資／研究開発



AI活用・DX推進
作業の機械化

人的投資



オフィスのリデザイン
処遇改善
研修設備の拡充

広報PR

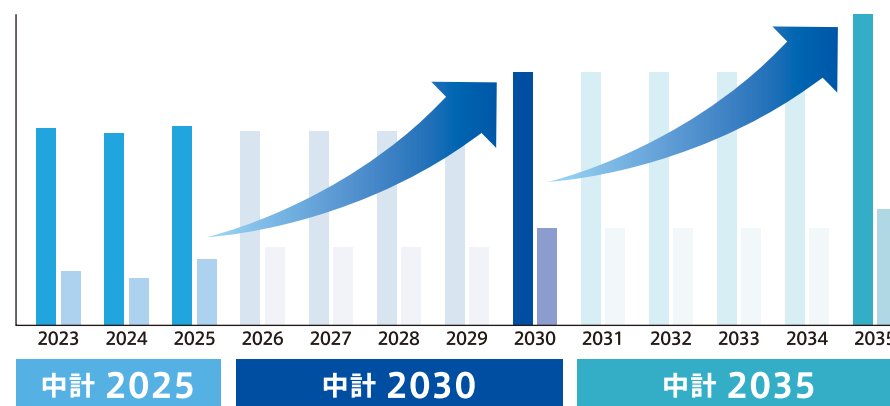


選ばれる企業づくり
大鉄ブランド

財務目標

	2025年度(見込み)	2030年度(目標)
売上高	1,021億円	1,300億円
(線路)	202億円	230億円
(土木)	411億円	520億円
(建築)	408億円	550億円
当期純利益	34億円 / 3.3%	50億円 / 3.8%

※物価高騰・労務費上昇含む



5～10年後のマイルストーン

- ✓ 施主や地域から信頼される安全で高品質な大鉄
- ✓ 人と人、地域をつなぎ、技術でミライをつくるDAITETSU
- ✓ 鉄道やその他社会インフラを支える西日本を代表するゼネコンの大鉄
- ✓ 一人ひとりのライフスタイルや価値観に合わせ、多様な人財が成長・チャレンジし続けるDAITETSU
- ✓ 社員とその家族、協力会社を大切にする大鉄
- ✓ 個人と組織が「共働共創」し、新しい価値や成果を生み出し、すべてのステークホルダーに還元し続けるDAITETSU

ありたい姿
2035

★コーポレート
ブランドの確立

★エリア支店の活性化

★都市圏での事業拡大

★DAITETSUの知名度向上
(採用/認知度)

★大鉄ブランドの確立
(安全・品質)

★DX・機械化の推進
(AI活用×人にしかできない)

★技術力・提案力の更なる向上

★人的投資
(オフィスのリデザイン・処遇改善)

★社会インフラの老朽化対応
(社会課題への取り組み)

★鉄道ネットワークを活かしたまちづくり

★地球環境への取組み

中計 2025

売上高
1,000億円

2025年

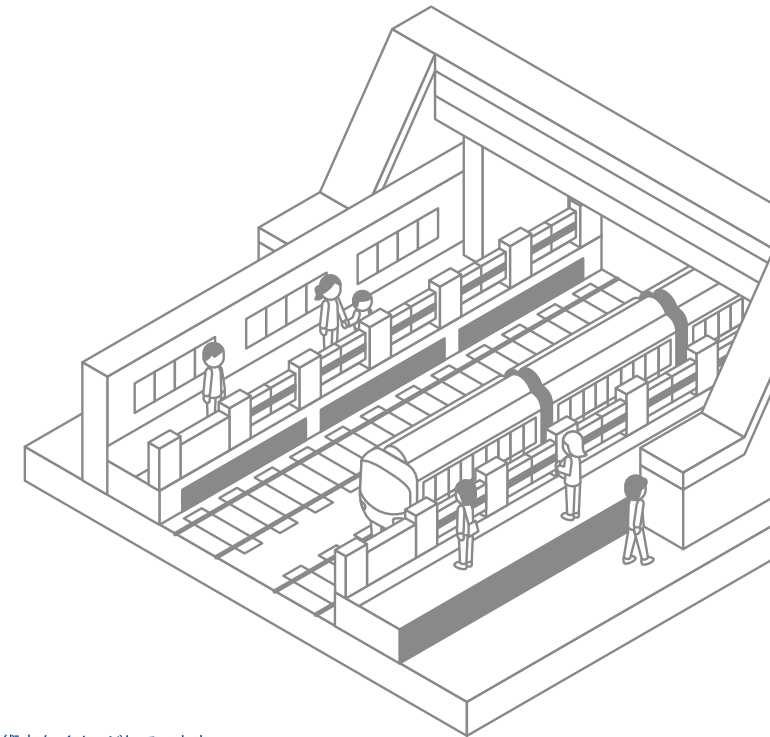
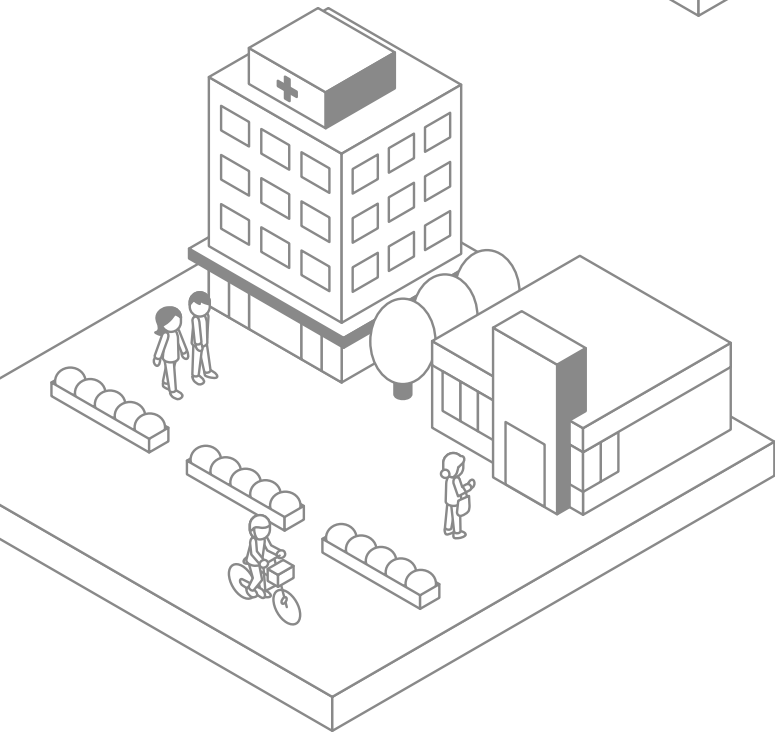
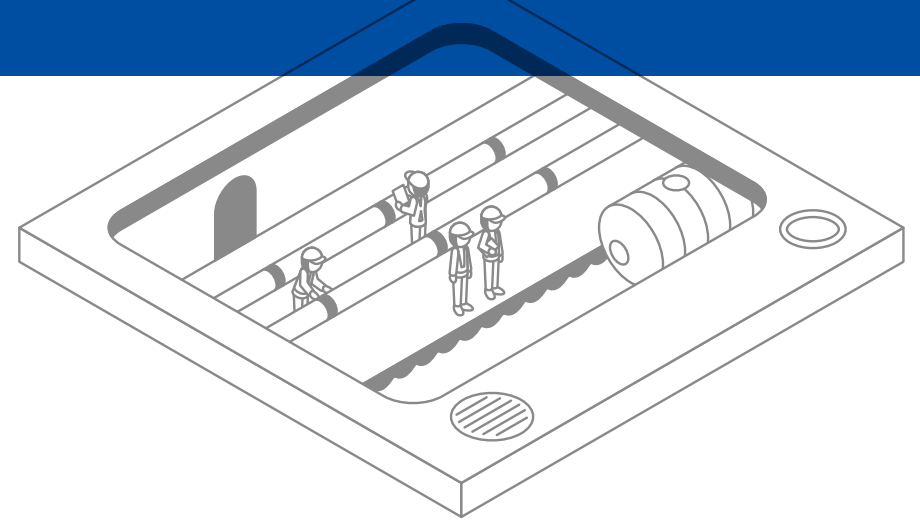
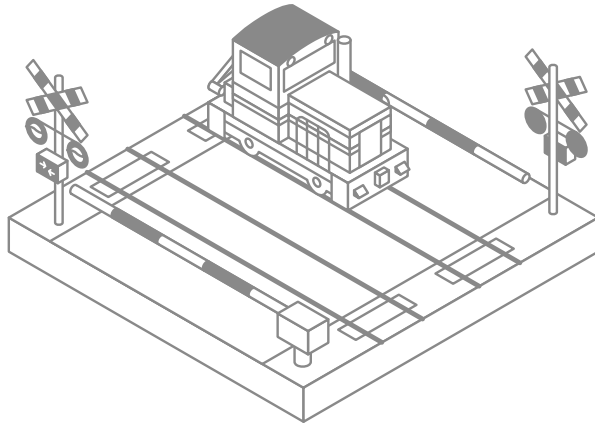
中計 2030

売上高
1,300億円

2030年

更なる挑戦と飛躍

※KPIの達成に向けたモニタリングを定期的に行い、取り組みを検証し、各年度の事業計画に反映する。※社会情勢や経営環境の変化に応じて適宜見直しを図りながら進めていく。



中期経営計画 2030

2026年4月発行 大鉄工業株式会社

ロゴマークの「赤い三角形」は暖かい真心と多方面に発展する企業を、「Dのカーブライン」は新幹線先頭車の力強い技術力をイメージしています。

【注意事項】本資料に掲載しております計画、予測、見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。